

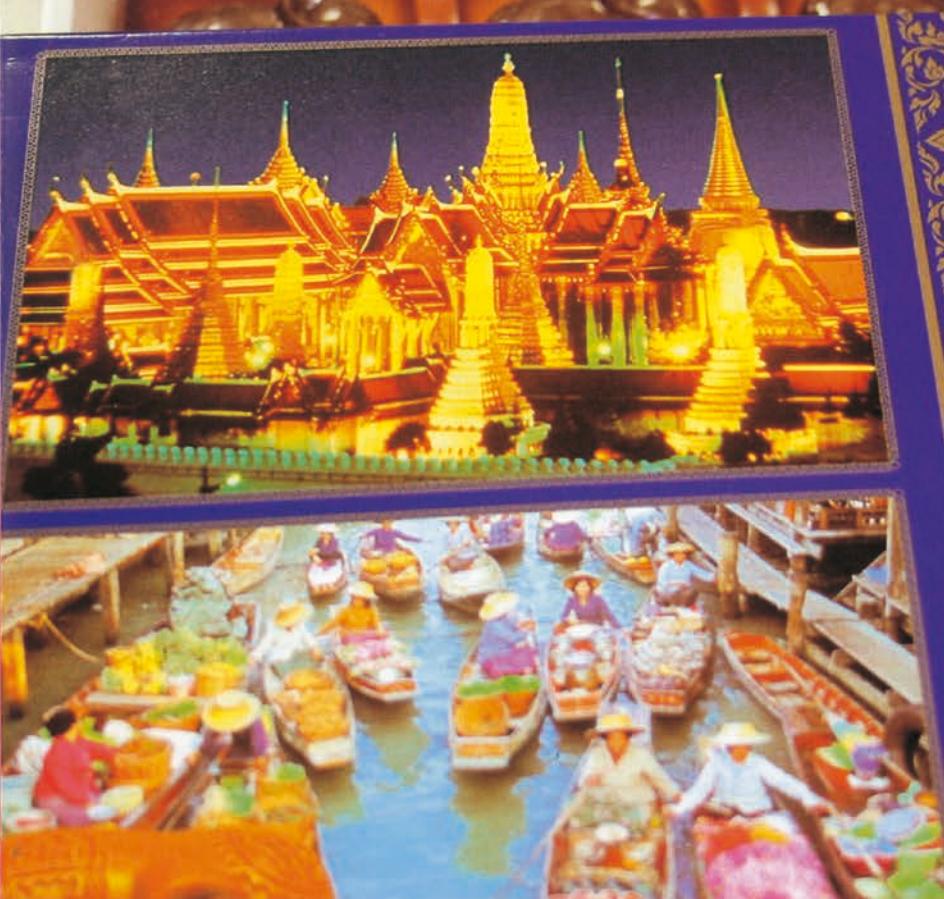
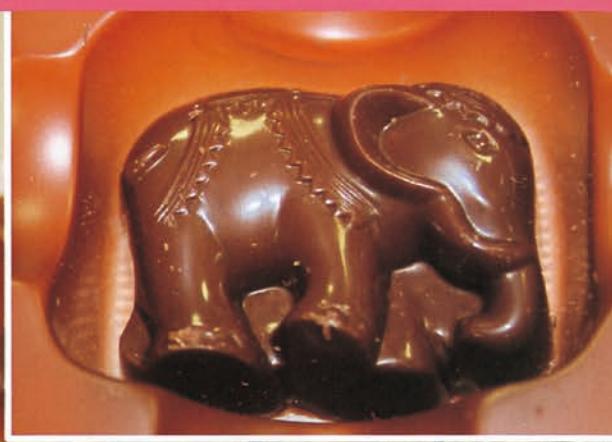
やあ! TIA news やあ!

やあ!特集 目で見る国際協力

- とちぎで暮らして… アユルザナ・ダイリージャヴさん
(モンゴル)
ようこそとちぎへ 平成18年度南米移住者
子弟短期研修生
あんな店こんな店 ブラジル料理
「サウガードス・ダ・ネイデ」
心に残る私の写真 イタリア 栗原 裕美さん
国際理解への扉 「青年海外協力隊として赴任します!」

世界のスイーツ SWEETS

～タイ編～



タイといえばお寺のイメージ、仏教国って感じですね。タイではお寺のことを「ワット」といいます。実際、行かれたことのある方も多いと思います。あと、象使いでも有名な国でもあります。このチョコレート、よくみると象の形をしています。味はミルクチョコの味で、とてもマイルドです。

アユルザナ・ダイリージャヴさん(25歳)

AYURZANA DAIRIJAV



プロフィール

モンゴル・ウランバートル市出身。2003年に来日。茂木町に在住のご主人と知り合い、結婚。今年度、いぐら日本語スピーチコンテストで優勝。茂木市在住。一児の母。

一はじめまして。日本語がお上手ですね。日本語との最初の出会いは?

ダイリー 16歳の頃、モンゴルの観光地でバスからちょうど降りたところで主人にたまたま出会ったのです。その当時、日本語が一言もできない私は、言葉が通じなくて、ジェスチャーとかでなんとか意思疎通しました。これが縁で、連絡先を交換し、5年ほど文通を続け、大学でも日本語を専攻し、これが日本語を学ぶきっかけとなりました。



▲日本の着物を着てみて…

一今回、日本語スピーチコンテストで優勝したとお聞きしましたが…
ダイリー そうなんですよ。テーマは、「お盆に考えたこと」で、日本人と結婚して、カルチャーショッ

クを受けたりしたんですが、モンゴルと日本の一番大きな違いはお盆だったってことを書いたのです。日本の仏様の考え方方が違うのですが、モンゴルは町の中に墓がないんです。しかも、日本のように先祖代々から一つの家のようにお墓に入るという習慣もなくて…。だからお盆に帰省し、

家族が一堂に集まり、先祖の仏様を敬うというモンゴルにはない習慣に感動しました。

一日本とモンゴルは、風俗習慣、気候風土等異なるところも多いですが、日本で困ったことはありましたか?

ダイリー 確かに日本は、モンゴルと宗教、食べもの、時間に関する考え方方が違います。平原の多いモンゴルに比べ、日本は、山や木が多いです。私は、最初慣れないせいか、息苦しく感じました。海などの広い場所に行きたいと思いました。そういう大自然を見れば、嫌なことも忘れることができるからです。困ったことと言えば、育児で、寒いモンゴルでは子どもにおくるみをして、抱きかかえます。日本のようにおんぶをすることはタブーとされています。この点も日本とは違い、戸惑いましたが、慣れてきたら気にならなくなりました。また、食べ物では、モンゴルは生ものを食べません。肉料理が主なため、魚料理を食べないので、最初日本で食べ方がわかりませんでした(笑)。でもわたしには和食が合っているのではないかと思います。

一活躍されているダイリーさんですが、これから抱負を聞かせてください。

ダイリー 幸運なことに国際交流をする機会を与えられたので、近隣の芳賀町の小学校等で流を続けていきたいです。私が交流をしていて、感じたことなのですが、日本の子どもたち



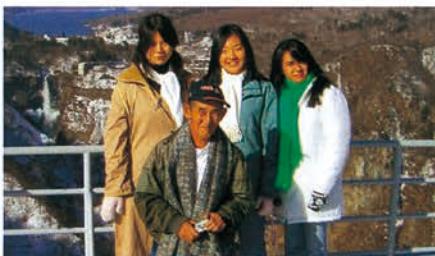
▲モンゴルにいた頃、孤児院でボランティア活動していたダイリーさん

たちは、外国文化を多く触れている反面、日本のよさをあまりに知らなさすぎると思います。私の将来の夢なのですが、小学校の先生になって、日本の素晴らしいを教えてあげたいです。

ようこそとちぎへ Welcome to Tochigi

栃木県南米移住者子弟短期研修生来県

栃木県から南米に移住した日本人の子女を栃木県に招待し、祖先の育った日本の文化や習慣に触れてもらうプログラムが平成19年1月20日(土)から2月4日(日)の約2週間実施された。今回は、団長の菊地さんほか3名の高校生がブラジルからやってきた。



▲菊地団長と南米移住者子弟短期研修生の3名

県内では、日光東照宮、華厳の滝など日光視察のほか、大谷資料館や平和観音など宇都宮市内視察をし、県外では、東京・横浜を訪れ、海外移住資料館、東京タワー、浅草など

を見学した。その後はさくら市にある氏家・さくら清修高校の高校生宅にホームステイしながら体験通学を行い実際の日本の高校の授業に参加し、高校生との交流も深めた。

また、来日前から楽しみにしていた1泊2日のスキー研修では、9月に来県し研修中の栃木県海外技術研修員と一緒に、初めて見る雪に感動したり、はしゃぎまわったりしていた。最初は、慣れないスキー板をはいて、転んだりしていたが、翌日には滑れるようになっていた。帰ってきた夜から行われた親族の訪問を兼ねたホームステイでは、なかなか会うことのできない親戚と普段できない交流をし、祖父母の思い出話に花が咲いた。また、送別会では、ホストファミリーとなった親族をはじめ、体験通学の際のホストでもある高校生たちも出席し、大いに盛り上がり、別れを惜しむ様子も見られた。



▲初めてのスキー体験

「とちぎ留学生奨学金」奨学生活動報告会



▲安塚小学校で小学生と交流中の徐さん

「とちぎ留学生奨学金」を受給している県内大学の留学生が集り、地域の交流やボランティア活動などを報告する会が1月20日(土)にとちぎ国際交流センターで行われた。

留学生たちは、様々な地域交流や協力を行っているようだ。

独協医科大学の徐 雪東さん(中国)は、大学祭の時、模擬店を出店しようとしたが、ノウハウもわからなかつたので、他のフェスティバルを見学したりして、やり方を考えたなど苦労した経験談を話してくれた。また、12月に都賀町で行われた国際交流協会10周年記念の国際交流のつどいには、他の留学生らと共に参加し、中国ではやっている歌を披露したりしたり、壬生町の安塚小学校でのひいらぎ集会で、2年生から6年生までの25名の子どもたちに中国の餃子の作り方を教えていたそうだ。

目で見る

国際協力

今回の特集は目で見る国際協力と題して、国際協力に関する大きなイベント2つを、写真をみながら、追ってみましょう。

1つ目は2007年2月3日（土）に宇都宮大学学生会館で行われた「栃木国際協力フォーラム2007」です。

この催しは、宇都宮大学の学生等が組織する栃木インターナショナルアクトが主催したものです。学生自らが企画・実行したもので、今回のテーマは「想動（そうどう）＝気持ちが動かされて行動に出るということをイメージして表現した造語」ですが、国際協力に関心を持つ若者たちの活動をより活性化する良い機会となりました。今後の彼らの更なる活動にも大いに期待したいですね。



▲いろいろな貴重な体験談の聞けたパネルディスカッション



▲ルワンダの小学校建設について熱弁するマリールーズさん



▲TIAの高校生国際理解クラブ・クラブリセもブースを出し活躍



▲ストリートチルドレン芸術祭



▲栃木工業高校のタイボランティア
体験報告ブース

▲パネルディスカッションでの会長の体験談にも
惹きつけられたアフガンとちぎスクール基金



▲誰でもすぐにできる国際協力フェア
トレード。

▲会場の外にはフェアトレードカフェも



とちぎ国際協力セミナー2007

—もっと身近に国際協力!—

主催：栃木県

国際協力機構JICA地球ひろば

(財) 栃木県国際交流協会

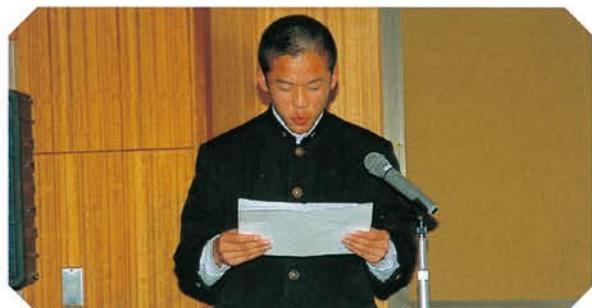
2つ目は、2月10日（土）にとちぎ青少年センターで行われた「とちぎ国際協力セミナー2007」です。もっと身近に国際協力！とサブタイトルがついたこのセミナーには、記念公演として、NPO法人国境なき楽団代表の庄野真代さんの海外での貴重な体験談や、海外でボランティアを行ってきたJICA青年海外協力隊のボランティア隊員やJICA教師海外研修で研修をしてきた先生、また海外で活躍してきたNGO団体、研究活動を続けている大学院生の国際協力活動報告のあと、中学生による平和メッセージの朗読、そして最後にミニコンサートとして、国境なき楽団宇都宮支部「BROWN BLESSED VOICE」の「ONE」等のゴスペルの合唱で盛り上りました。



▲BROWN BLESSED VOICEのゴスペル「ONE」



▲NPO国境のなき楽団代表庄野真代さんの体験談



▲天和仁彦君（那須塩原市立厚崎中学校3年）による平和メッセージ



▲フェアトレードブース



▲会場の入り口わきのカンボジアコーナー



▲カンボジアでの農業開発研究の
発表ブース



▲シャプラニールとちぎ架け橋の会代表の
講演のあと来場者から関心が集まつた



▲シャプラニールの吉田さんはバングラ
デシュの実情を映像と図で説明



▲岡先生は帰国後の体験学習につい
ても報告



▲ボリビアという国を説明する元青年
海外協力隊員福富さん



▲宇都宮大学農学研究科の服部さん
のカンボジアの農業開発研究報告



写真を提供してくれたのは、宇都宮市に在住の栗原裕美さん。初めての海外旅行として、ずっと憧れていた歴史と文化の街イタリアへ旅立ったのが4年前の2月。期待通り、旅行期間中は天候に恵まれ、移動中の車窓から差し込む暖かい太陽の光が、初春の訪れを感じさせてくれる素敵なお旅となったそうです。



卵城とサンタルチア

かつては、漁村だったサンタ・ルチア地区の美しい海岸通りから海に張り出して建てられた12世紀の古城。

ここから眺めたナポリ湾の水面は太陽の光に反射して宝石を散りばめたような輝きでした。



花の都 フィレンツェ

フィレンツェはルネッサンスの栄光を今に伝える建築や絵画が残されていて、イタリアの歴史と文化の真髄に触れることができます。

ミケランジェロ広場から眺めるフィレンツェの町並みは絵に描いたような光景でフィレンツェを代表するドゥオーモがあでやかに威光を放っているのが印象的でした。

このコーナーで紹介する写真とエピソードを募集しています。
詳しくは、協会までお問合せください。（☎028-621-0777）

TIAトピックス

外国人のための無料法律相談会

県弁護士会との共催で、外国語通訳がつく無料法律相談会を、今年度は11月7日(火)と11月12日(日)にとちぎ国際交流センターで行った。

TIAでは、毎年、増加傾向にある在住外国人の相談に対応するため、通常の法律相談とは別に、この法律相談を行ってきている。

相談には、南米、アジア、欧州出身の外国人が訪れた。

国際理解教育ファシリテーター養成講座 活動報告会

小中高校や生涯学習施設等の講座において、国際理解教育を深めるためのプログラムを実践するためのファシリテーター（進行役・プログラムの促進者）を育成する「国際理解教育ファシリテーター養成講座の総まとめとなる「実践プログラム報告会」を12月9日(土)、大田原市勤労者総合福祉センターで開催し、各グループが当日の様子を振り返り、写真を披露しながら発表した。



▲発表にも熱が入る

アジア学院グループは高校生対象の国際協力ワークショップを、とちぎ国際交流センターグループは小学生高学年の親子対象のアクティビティを、黒磯いきいきセンターグループは、幼児・小学生の親子対象のワークショップを実践し、事前準備や参加者を集めの苦労を通じ、多くのことを学んだ。

レポート

第14回外国人のための法律講座・交流会

1月13日(土)に栃木タイムスが行っている外国人のための法律講座を、今回は「国際結婚みんなでディスカッション」というテーマでとちぎ国際交流センターで行い、8か国55名が参加した。

国際化が進む中、外国人も定住化の時代を迎え、国際結婚また離婚等の問題が出ていている。前半のディスカッションでは、「日本語教育や子どもの教育へのサポートがほしい。」「永住権を持っていても、仕事を探したり、起業することは難しい。」「病気、老後の年金問題が不安」などいろいろな意見が出た。その後行われた交流会では、日本人と外国人が、国籍、民族、宗教、イデオロギーを超えて、お互いにサポートしあい、外国人はお客様という考えではなく、地域づくりにも積極的に参加し、多文化共生社会づくりに貢献できるようなネットワークづくりの重要性について、引き続き討論された。



▲みんなでディスカッション



▲交流会で

第17回わいわい地球っ子クラブ～わいわいお正月～

TIAのわいわい地球っ子クラブ（小3～小6年生対象の国際理解クラブ）がとちぎ国際交流センターで行われた。参加したのはわいわいの会員25名。ゲストとして、栃木県海外技術研修員5名（カンボジア、ブラジル、中国）が、それぞれの国の紹介やゲーム、遊びを披露した。



▲笛をならしてみよう



▲ペテカで遊ぼう～！

カンボジアの研修員は、カンボジアの国の様子や食べ物などを写真を使って紹介。また、カンボジアの紙幣も持参し、子どもたちは興味深そうに見ていた。次に、ブラジルの研修員はブラジルの紹介のほか「ペテカ」という羽根を手でつくゲームを紹介。トーナメントをしたため、大いに盛り上がった。中国の研修員からは、中国の伝統的な切り絵を紹介。実際に、まねしながら、慣れない手つきで紙で切り絵を作つてみた。最後に、インドネシアの子どもたちが廃材で作つて鳴らしてみた。帰りに吹きながら帰る子もいて大変気に入ったようだった。

Club lycée「クラブリセ」 第32回ミーティング「私の国を紹介します ボリビア&カンボジア」

今回のゲストは海外技術研修員で自治医科大学で地域医療を研修しているボリビアのハイメ・ロベスさんと栃木県埋蔵文化財センターで遺跡保護を学んでいるカンボジアのサンナン・キムさんの2名。カンボジアのキムさんは、世界遺産になっているカンボジアのアンコールワットの遺跡をはじめ、カンボジアの学校や農村の様子、さらには食べものまで、映像で説明をした。その後、ボリビアのハイメさんが、ボリビアの伝統楽器「チャランゴ」を使った民族音楽「フルクローレ」を日本人の音楽仲間と一緒に演奏した。初めて聞く高校生もいて、演奏は大変盛り上がり、会場の緊張もとけた。その演奏の後は、医者の立場から深刻な問題でもあるボリビアの医療の現状について、様々な角度から統計資料を用いながら、説明が行われた。また、ボリビアの実情を取材した日本のドキュメント番組を放映し、高校生らにボリビアの現状を知つてもらった。今回のミーティングを通じ、カンボジアとボリビアを知ることができて、今までより2つの国が身近に感じられるようになったようだ。



▲フルクローレ・ミニコンサート

国際理解への扉/国際理解の扉へ

「青年海外協力隊として赴任します!!」

平成18年度2次隊の栃木県出身の青年海外協力隊員9名が1月中旬に各任地国へ出発しました。(派遣国、職種)

●中村明子さん(ボリビア 青少年活動)

子どもたちや先住民の人々に対して、近年ボリビアで問題になっている環境問題に対する教育を行ってきます。標高4000mの富士山よりも高いアンデス高地でボリビアの文化や伝統を尊重しつつ、仕事にも精進してきたいと思います。

●古河大輔さん(ボリビア、村落開発普及員)

先住民の多く住む地域で収入向上プロジェクトに従事します。少しでも貢献できるようがんばります。

●吉田澄江さん(マレーシア、養護)

リハビリテーションセンターでスタッフの皆さんと一緒に活動する予定です。いろいろなことを勉強してきたいと思います。

●城野富美子さん(マダガスカル、養護)

知的障害者の施設にて活動予定です。障害者の人々も毎日の生活が楽しめるよう自分自身も楽しんできたいと思っています。

●太田直孝さん(パプアニューギニア、理数科教師)

感染症の知識を少しでも住民の人々に啓蒙し、役立てるようにながめています。理数科が面白いと思ってもらえるような授業をしたいです。

●竹部辰徳さん(パプアニューギニア、理数科教師)

実験をたくさん取り入れて楽しい授業ができるように頑張ります。理数科が面白いと思ってもらえるような授業をしたいです。

●森本祐介さん(スリランカ、PCインストラクター)

ラトナブラの短期大学でパソコンを教える活動をします。少しでも皆さんの役に立てるよう努力していきたいと思っています。

●半貴智紀さん(ヨルダン、コンピュータ技術)

ヨルダンのアカバ職業訓練校に行きます。コンピュータの指導を行います。

●猿山由美さん

(フィリピン、獣医師)

セブ地区で牛などの家畜の獣医として活動予定です。フィリピンの畜産に少しでも貢献できるよう暑さに負けず頑張ります。



▲いってきま～す♪

あなたも地球に笑顔の種をまいてみませんか？
JICAボランティア春募集説明会を実施します。

	青年海外協力隊 (20～39才)	シニア海外ボランティア (40～69才)
4/22(日) 小山生涯学習センター	14:00～16:00	10:30～12:30
5/13(日) とちぎ国際交流センター	14:00～16:00	10:30～12:30

JICA 栃木デスク 松島愛実



You can select from some Media.



株式会社 松井ピ・テ・オ・印刷

本社／〒321-0904

栃木県宇都宮市陽東五丁目9番21号

URL: <http://www.pto.co.jp/pto/>

E-mail: s@pto.co.jp

tel. 028(662)2511㈹

fax. 028(662)4278

Soy Inc.
Americas
Printing
Plant

※掲載広告を募集しています。詳しくは協会までお問い合わせ下さい。

TIAニュース やあ！

TIA Information Corner

TIAの国際理解クラブ 会員大募集!!

高校生のための

● Club lycée

参加者からのアイデア大歓迎!
国際的視野を身につけよう!!

活動内容 参加型セミナー、外国人との交流など

活動日 2か月に1回

年会費 無料

小学3~6年生のための

●わいわい地球っ子クラブ

同じ地球で生活する仲間として、
一緒に世界を学ぼう!!

活動内容 ゲーム、料理、工作、
外国人との交流など

活動日 6・9・12・3月の第2土曜日

年会費 1,000円

お問合せ 栃木県国際交流協会

☎028-621-0777

賛助会員募集 !!

財團法人栃木県国際交流協会(TIA)では、賛助会員を募集しています。皆さまからの賛助会員費は、TIAの様々な事業に使わせていただき、地域の国際化に役立っています。

会員の特典: ● TIA主催・共催等の各種イベントやセミナー等の情報提供。 ● TIAニュース「やあ!」を年4回送付。 ● 会員証の提示により指定店の旅行企画商品および海外旅行用品の割引 ● ビデオ録画方式変換(海外↔日本)の無料サービス ● 団体賛助会員には、とちぎ国際交流センター利用の場合、予約は2か月前から先行受付(通常は1か月前より受付)。

年会費:個人 3,000円

団体 10,000円

法人 30,000円

TIA法律・精神保健相談のご案内

TIAでは、総合相談のほかに、下記のとおり、栃木県弁護士会、栃木県精神保健福祉センターとの協力を得て、弁護士による法律相談及び、専門職員による精神保健相談を行っています。

国外の方や外国の方との関わりでお悩みの方は、お気軽にご相談ください。相談は相談専用の個室で行われ、秘密は厳守します。

どちらも無料で、予約が必要です。

※法律相談

毎月第1火曜日 10:00~12:00

※精神保健相談

毎月第1・3火曜日 15:00~16:00

対応言語はご相談ください。

相談のお問合せ(相談専用電話)

☎028-627-3399

新規賛助会員の方々

団体:とちぎ通訳ガイド協会様

個人:藤原洋二郎様

飯島 康男様

~ご入会ありがとうございます~

財團法人栃木県国際交流協会は、特定公益増進法人(寄付金の損金算入等の課税特別措置)の認定を受けています。当協会の事業にご賛同くださる各企業、団体等からのご出捐をお願いいたします。

栃木県国際交流協会 事業案内 Tochigi International Association(TIA)

~とちぎ国際交流センターの交流ラウンジ・図書閲覧室は
どなたでも気軽にご利用できます~

■相談事業

在県外国人をはじめ県民の皆さまの国際交流・国際協力に関する相談に専門の相談員が
応対

■機関紙の発行・情報提供

TIAニュース「やあ!」や在県外国人向け外国語情報紙の発行
とちぎ国際交流センター内には情報交換のためのメッセージボードの設置

■各種イベント・講演会

国際交流促進や国際協力意識高揚を目的とした各種イベントや講演会の実施

■TIA協力者バンク

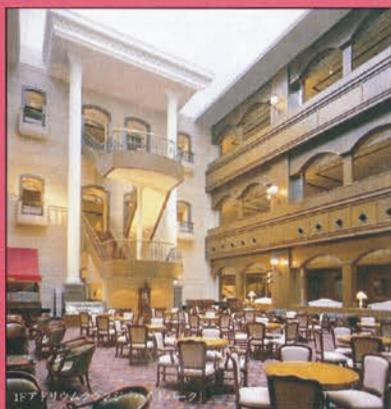
ホストファミリーバンク、インストラクターバンク、トランスレーターバンクの運営

■とちぎコミュニケーションネットワーク(TCN)

在県外国人のネットワーク。イベント等の情報提供、国際理解講座等への協力

*この他さまざまな事業を行っておりますので、お気軽にお問合せください。

*とちぎ国際交流センターの交流ラウンジ・図書閲覧室はどなたでも気軽にご利用できます。会議室等の施設利用についてはご相談ください。



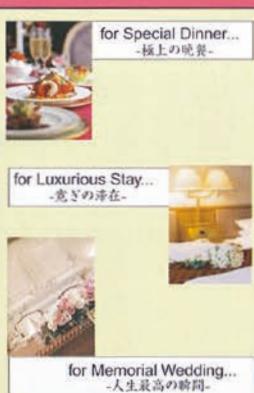
ホテル東日本 宇都宮

<http://www.hotelhighashinon.com>

〒320-0013 宇都宮市上大曾町492-1 TEL 028-643-5555



本紙は定期的に配布し再生紙と大豆油インキを使用しています。



TIA ご案内図



編集・発行

住 所

〒320-0033 宇都宮市本町9-14 とちぎ国際交流センター内

TEL 028-621-0777 (代表) 028-627-3399 (相談専用)

FAX 028-621-0951

業務時間 8:30~17:15

休館日 日曜・月曜・祝祭日及び12月29日から1月3日